



のびのび若っ子

未来を創る人を育む

校長 中島 早苗

暖かい春の日差しを受けて、校庭では例年のように色とりどりの花が咲き誇っています。桜の花も美しい若葉台のまちに彩りを加えています。春の訪れとともに、新しい年度がスタートしました。保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

私達の目に映る自然が何ひとつ変わらないのに反して、今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、4月20日まで、再度の臨時休業に入るという異例のスタートになります。日々、状況は変化していますが、現時点では終息がいつになるのかが見えない状況です。命の重みを感じ守るために、保護者の方、地域の方の生活も、子ども達の生活も大きく変化し、不安な思いを抱える日々が続いているかと思えます。

本校の教職員も、変化する状況に応じて「様々な状況を想定」し「現時点での最善を尽くす」ことが私達の責務と考えて新年度スタートの準備を行ってまいりました。臨時休業の準備をする一方で、新しく異動してきた職員を含む全職員で新型コロナウイルス感染症について改めて研修を行い、再開の時のために備え、「教科等の授業実施の工夫」「登校時の健康観察」「手洗いの徹底のための水道場の使い方」「給食の受け取り、返却」「教室環境」等、感染拡大防止のために具体策を確認いたしました。4月の行事の延期中止も周知しているとおりでありますが、今後も様々な行事の変更が考えられます。また、本日配付しました学年だよりについては、変更の可能性を考え、行事予定の欄は学校だよりの行事予定に一本化させていただいています。

昨年度の卒業式で、6年生の子ども達に次のように語りかけました。
「臨時休校を含め、この1か月ほどのことは、みなさんの目には、どのように映ったのでしょうか。何を考えたのでしょうか。あたりまえとっていたことは、実はあたりまえのことではなく、あたりまえと思えることそのものが、大きな幸せであると気づいたかもしれません。私たち大人も、正解を導きだせない中で、まだ12歳のみなさんが、整理して、考え、言葉に表すことは、難しいかもしれません。でも、みなさんの先には 確実に（中学校生活があり）未来がつながっている、あなたたちが社会の中心となり、社会を支える存在となったとき、みなさんが何を語るのか、それは私達大人に課せられた大きな課題であり、希望でもあります。ともに未来を創りましょう。」

未来を創る子ども達を大切に育んでいきたいと考えています。

今年度も昨年度同様にご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

若葉台小学校学校教育目標

『自他共に大切にすることを育みます』『意欲的な学びの芽を育みます』